

No. 86 >>> Contents

●一般財団法人大日本蚕糸会から	
事例集「繭と絹 歴史と文化でまちづくり」を刊行一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部	①
純国産絹マーク表示対象製品の拡充について.....一般財団法人大日本蚕糸会	②
「カイコを育てよう！2025」のお知らせ ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー一般財団法人大日本蚕糸会	③
●トピックス	
「合理的な価格形成」について農林水産省 農産局 果樹・茶グループ 地域作物第2班（蚕糸担当） 課長補佐 三村真梨子	④
3月14日「蚕糸の日」記念講演会を開催一般財団法人大日本蚕糸会 企画調整部	⑤
養蚕研修を通じて私が考えたことR6年度養蚕研修生 株式会社細尾 古代染色研究所 高松秀徒	⑥
養蚕の潜在的価値とその可能性 ～日本の養蚕は生き残れるか～影森養蚕所 久米悠平	⑨
●研究・技術情報	
ポリエチレン製山型まぶしの作製一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 鶴井裕治	⑪
●イベント情報	⑬
●一般財団法人大日本蚕糸会から	
令和7年度貞明皇后研究助成採択一覧（5件）	⑮
2025年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況	⑳
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧	㉓
活動日誌	㉔
●蚕糸絹関係博物館一覧	㉓
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧	㉔
●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）	㉔

事例集「繭と絹 歴史と文化でまちづくり」を刊行

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸絹業振興部

蚕糸業は長い歴史の中で我が国文化のバックボーンの一つとなっており、全国各地の生活や風土の中に根づいています。地域には数々の蚕糸業に関する歴史的・文化的遺産があり、それらを活用して地域特産物の開発や観光客誘致などに取り組む事例がみられ、これらは地域のアイデンティティの高揚にもつながっています。今回、このような各地の取り組みを収集し事例集として刊行することとしました。

現在、養蚕を行う農家は少なくなっており、国産の繭・生糸は極めて希少（生糸需要全体の0.13%）なものとなっています。将来にわたって持続的な蚕糸業を確立していくためには、数量は少ないながらも、特色のある蚕品種や生糸等日本の蚕糸業の

強みを活かした製品づくりを進めることが重要ですが、製品の付加価値向上には“物語性”も重要な要素となります。今回掲載した事例をみると、取り組み方はさまざまですが、それぞれが物語を持っていますので、このような取り組みが広がれば我が国蚕糸業の強みが増すことにつながります。ぜひ本事例集を参考にいただき、より多くの地域で蚕糸業を核とした地域づくりに取り組んでいただくことを願っています。

末筆になりますが、本事例集の作成にご協力をいただきましたシルクのまちづくり市区町村協議会の関係者の皆様、各事例をご執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



事例集は、弊社ホームページにも掲載しています。ダウンロードをしてご活用ください。
https://silk.or.jp/wp-content/uploads/jizoku_jireishu.pdf#view=Fit

純国産絹マーク表示対象製品の拡充について

一般財団法人大日本蚕糸会

「純国産絹マーク」は、国産の繭・生糸だけを使って製造された純国産の絹製品であることが消費者に一目で分かるようにするためのマークです。

今般、マーク使用希望者の要望を踏まえ、純国産絹マークの表示対象製品を見直し、絹糸（生糸を含む）を新たに加えました。（令和7年4月1日 施行）

純国産絹マークの許諾を受けた絹糸等を使用している絹製品は、その製品の説明資料などにおいて、当該絹糸の純国産絹マークを引用して、絹糸の生産履歴を語ることなどにより、差別化と付加価値向上を図ることができると期待されます。

純国産絹マークの表示対象製品新旧対象表

新	旧
マークの表示対象は次の要件を満たす絹製品とする。 (1) 国産の繭から操糸した生糸（紬糸等含む。） （以下これらを総称して「生糸」という。） を用いて、 ①国内で製織された白生地及び国内で染織された和装品（きもの（反物及び仮絵羽）、帯のほか一般財団法人大日本蚕糸会（以下「蚕糸会」という。）が認めた和装小物） ②国内で染織（製編）、染色・加工及び縫製された洋装品（アパレル製品及び服飾品） ③国内で染織（製編）、染色・加工及び縫製された寝具寝装品で蚕糸会が認めたもの 又は ④国内で製造された絹糸（生糸を含む） (2) 蚕糸業（養蚕農家、製糸業者、生糸流通業者等）と絹業（織物業者、流通業者等）の提携によって開発されたなど、生産履歴が明確な製品であって、国産の繭又は生糸の特徴又は希少性が活かされたものであること	マークの表示対象は次の要件を満たす絹製品とする。 (1) 国産の繭から操糸した生糸（紬糸等含む。） （以下これらを総称して「生糸」という。） を用いて、 ①国内で製織された白生地及び国内で染織された和装品（きもの（反物及び仮絵羽）、帯のほか一般財団法人大日本蚕糸会（以下「蚕糸会」という。）が認めた和装小物） ②国内で染織（製編）、染色・加工及び縫製された洋装品（アパレル製品及び服飾品） 又は ③国内で染織（製編）、染色・加工及び縫製された寝具寝装品で蚕糸会が認めたもの (2) 蚕糸業（養蚕農家、製糸業者、生糸流通業者等）と絹業（織物業者、流通業者等）の提携によって開発されたなど、生産履歴が明確な製品であって、国産の繭又は生糸の特徴又は希少性が活かされたものであること

「カイコを育てよう！ 2025」

— 全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン —

人々にとって身近な存在であったカイコは、蚕糸業の衰退とともに目に触れる機会が少なくなっています。

こうした中で、各地の博物館で個別に行われている「カイコ、蚕種の配布」活動を横断的に連携し、かつて日本の産業を支えた蚕糸業を知ってもらうことを目的として、「カイコを育てよう！ 2025」を実施します。

全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン

そだ
カイコを育てよう！
2025

今年の夏休み、キミはカイコ博士になれる！

全国7か所の蚕糸関係博物館で
カイコまたは蚕種を配布します。

詳細は各施設にお問い合わせください。

キャンペーンに参加者するとプレゼントが当たるかも！

●各施設に備え付けの応募券用紙が各で館内にございます。

野外博物館
北海道開拓の村

●申込期間 7月3日(木)より
●配布日 8月2日(土)
●申込先 小樽市ふるさと館、先着15名
●申込先 〒004-0006 札幌市厚別区厚別中央5-1
●申込先 011-898-2692
●申込先 <http://www.kaitaku.or.jp>

日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

●申込期間 6月25日(日) 9:30より 限定350セット
●配布日 7月19日(土)・20日(日) 10:00~16:00
●申込先 〒370-5511 群馬県高崎市金谷町 885-1
●申込先 027-360-6300
●申込先 <https://www.nippon-silkcenter.or.jp>

シルク博物館

●申込期間 6月6日(金)~20日(金)
●配布日 7月18日(日)~20日(日)
●申込先 〒231-0023 神奈川県横浜市磯子区山下町1番地
●申込先 シルクセンター2階
●申込先 045-641-0841
●申込先 <https://www.silkcenter-tokyo.jp/museum>

岡谷蚕糸博物館
シルクファンタジー

●申込期間 電話にてお問い合わせください。
●配布日 7月20日(日)~8月9日(土)~
●申込先 〒394-0021 長野県岡谷市南町 3-4-8
●申込先 0266-23-3489
●申込先 <https://silkfact.jp>

駒ヶ根シルクミュージアム

●申込期間 7月12日(土)~22日(火)
●配布日 7月26日(土)~28日(月) 10:00~11:30
●申込先 4番館 10階 限定50セット
●申込先 〒399-4321 長野県駒ヶ根市栄町 452
●申込先 0265-82-8381
●申込先 <http://komagane-silk.com>

Seiyo city Nomura silk Museum
西予市野村シルク博物館

●申込期間 (1) 7月11日(金)~13日(日)
●配布日 7月31日(日) 10:30、13:30、15:30
●申込期間 (2) 8月9日(土)~11日(月)・10月
●配布日 限定50セット
●申込先 〒797-1212 愛媛県西予郡野村町野村 8-177-1
●申込先 0894-72-3710
●申込先 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/seiyoucity/silkmuseum/index.html>

ジャパンシルクセンター
JAPAN SILK CENTER

●申込期間 7月15日(日)~16日(日) 限定60セット
●配布日 7月31日(日) 10:30、13:30、15:30
●申込期間 8月1日(日) 10:30、13:30、15:30
●配布日 8月7日(木)~8日(金) 10:00~17:00
●申込先 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 日本会館
●申込先 03-3214-3500 (一般財団法人大日本蚕糸会)
●申込先 <https://silk.or.jp>

主催：「カイコを育てよう！ 2025」実行委員会／一般財団法人 大日本蚕糸会

「合理的な価格形成」について

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ
地域作物第2班（蚕糸担当）
課長補佐 三村真梨子

食料安全保障などを巡る国内外の情勢を踏まえ、食料・農業・農村基本法が2024年度に改正されました。この改正法に基づき、我が国の食料・農業・農村を維持・発展させるための施策の方向性を具体化する計画として、2025年4月に食料・農業・農村基本計画が策定されました。本基本計画においては、国民一人一人の食料安全保障を確保するための施策として、「合理的な価格形成」が位置付けられています。

近年、生産資材等のコスト上昇、急速な円安の進行等により、農業及び食品産業の事業環境が急激に変化しています。このような中で、引き続き農業者・食品事業者が食料を生産・加工し、消費者まで送り届けるためには、持続的な食料システムを構築する必要があります。一方、生産コストが上昇しても、コストに見合わない販売価格が形成される事態が生じており、持続的な食料供給が脅かされるおそれがあります。こうした背景から、生産のみならず、加工・流通・小売・消費を含めた食料システム全体での関係者で協調しつつ、食料システムの各段階を通して、持続的な供給に要する費用を考慮した価格形成を推進することが必要となっています。

このため、本基本計画では、講ずべき施策として、以下のとおり規定しています。

- ・食品の取引において、事業者の努力義務

として、持続的な供給に要する費用等を示し、取引条件に関する協議の申出があった場合に誠実に協議に応じることや、商習慣の見直し等、持続的な供給に資する取組の提案がされた場合に、必要な検討・協力を行うことなどを定めた法制度を新たに構築します。

- ・この制度の下、事業者間の取引実態について調査を行うとともに、必要な指導・助言等を行います。また、取引当事者からの相談等に応じるための体制の整備を図ります。
- ・消費者の値頃感から小売価格が設定される等、取引において、通常費用が認識されていない品目を指定し、指定品目ごとに、認定団体が費用の指標を作成・公表します。
- ・コストの見える化や、生産等の現場の実情、コスト高騰の背景等をわかりやすく伝えるための情報発信等を行い、生産性向上と、消費者をはじめとする関係者の理解醸成を図ります。

こうした施策を講じることで、合理的な価格形成を推進します。合理的な価格形成は、食料のみならず、繭・生糸を含めた我が国で生産される農産物に共通して適用されるべきであると考えられます。合理的な価格形成を通じて、農業の持続的な発展を支えることが重要です。

3月14日「蚕糸の日」記念講演会を開催

一般財団法人大日本蚕糸会
企画調整部

大日本蚕糸会では、蚕糸業が近代日本の発展に貢献してきた歴史や蚕糸業の文化的な重要性について、多くの方々に理解を深めていただく機会として、3月14日を「蚕糸の日」と制定しました。

これを記念して、永年蚕糸絹業の振興発展に貢献され、大日本蚕糸会主催の令和6年度蚕糸功績賞を受賞された秋山眞和氏と新保 博氏をお招きして3月14日（金）に『3月14日「蚕糸の日」記念講演会』を開催しました。

講演会には、蚕糸絹業関係の企業の方、養蚕農家の方、大学・試験研究機関の方、一般の方など、会場に33名、オンラインで66名、合計99名の多くの方々にご参加いただきました。

講演会は2部形式となっており、第1部は「原風景のものづくり」と題して、秋山

様よりご講演いただきました。秋山様の綾の手紬染織工房の原点や、桑園管理から蚕品種「小石丸」の飼育、座繰りによる糸作り、藍染などの染色、織りまでの一連の工程のものづくりに対する情熱を感じさせるご講演でした。

第2部は「蚕と歩んだ50年の研究人生」と題して、新保様よりご講演いただきました。新保様の1973年農林省蚕糸試験場入省から2023年大日本蚕糸会蚕糸科学技術研究所退職までの50年にも渡る蚕との研究人生を振り返ってのご講演でした。

【参考】

「蚕糸の日」日付の由来は宮中御養蚕が始まった日（旧暦）。昭憲皇太后（明治天皇の皇后）が宮中御養蚕を開始した明治4年の第1回の掃立日（はきたてび）（旧暦）に由来。



秋山 眞和 氏のご講演



新保 博 氏のご講演

養蚕研修を通じて私が考えたこと

R6 年度養蚕研修生
株式会社 細尾 古代染色研究所
高松秀徒

【シルクとの出会い】

この度養蚕研修を修了した私は、京都の織屋・問屋業を営む(株)細尾の古代染色研究所に勤めており、普段は染色をするうえで絹糸や絹織物に触れています。とはいえまだ経験は浅く、入社以前は社会科学を専攻する大学生でしたのでシルクや養蚕というものへの馴染はほぼなかったに等しいです。師に染色を習う上で絹糸を初めて触らせてもらったときは、その美しさもそうですが、いつまでも触っていたいと思うほど肌触り良く、一方でむやみやたらに触ってはいけないような（扱い方も分かっていなかった）高貴さを感じたことを覚えています。それから、様々な繊維を扱わせていただく中でシルクというものの特異性を感じ、また一重にシルクと言っても品種、織度、撚り、織りなどによって様々な特徴を備えた糸や布があるということを知り、シルクの奥深さに惹きつけられ今日に至ります。とりわけ蚕糸科学技術研究所に蚕種提供や研究でお世話になっている「セヴェンヌ」という蚕の生み出す絹糸の美しさや扱いやすさ（毛羽立ちにくさ）は興味深く、その生糸が手元にやってきたときにはいつも改めて綺麗な糸だと魅了されます。

【養蚕研修を通じて】

弊社では山形県にて先述の「セヴェンヌ」を養蚕依頼していることから、これまで私も数日間程度のお手伝いに行かせてもらったことはありましたが、蚕の掃き立から上簇、収繭、選繭という一蚕期の流れを通すことは今回が初めてのことで、加えて飼育を支える桑園管理や病理のこと、蚕種製造や遺伝子源の保存、そして繭になった後の乾燥や製糸、染色という一連の工程に触れることは大変勉強になりました。

今回は一箱（30,000 頭）の蚕（錦秋×鐘和という実用品種）の飼育をご指導いただきました。養蚕期間中、その技術として教わったのは〈いかに蚕の生育度合を揃えられるか〉ということでした。日々変わる環境の中で蚕の生育状況をつぶさに観察しながら温湿度の調整、給餌量の調整、そして給餌を停めるタイミング（蚕が『眠』に入るか）、給餌を始めるタイミング（蚕が『起』きてきたか）を見極めながらその都度状況に応じて判断を行うわけですが、教わってすぐにできるものではないことを実感しました。稚蚕（1 齢～3 齢）飼育期間は、まだ蚕も大きくないので飼育スペースも小さければ、給餌量も少ないため飼育の手間は少ない分、小さいからこそ最初は一体ど

の蚕が寝ていて、どの蚕が起きているのか全く見分けることができませんでした。加えて、この期間中だからこそ先々のことを想定して、壮蚕飼育や上簇などの準備を計画的に進められるかが重要な中、蚕の生育状況が掴めない限り計画を立てることすらままならないものだと思います。そうして、ようやく眠蚕や起蚕の区分が掴め始めたころには屋外での壮蚕飼育へと進み、大きくなった蚕に桑園から桑を収穫・運搬して給餌するだけでも大変な労働（とくに上簇前）に変わり、あっという間に上簇、収繭を迎えました。研修としてはこの一蚕期で終わりであるものの、実際の現場では飼育量が増えることに加え、次の蚕期に向けての準備が連続的に行われ、ほんと息をつく暇もないほど大変なお仕事だと思うと同時に、いっそう養蚕農家さんへの敬意を抱きました。



5 齢 6 日 目 一 部 に 熟 蚕 が 出 て き た と き

【生命との向き合い】

〈いかに蚕の生育度合を揃えられるか〉
が養蚕における技術であるということは
〈決して蚕の生育度合が完全には揃わない〉

からという前提を含んでいます。あらゆる工夫を凝らしながらも一部は病気になったり、成長が遅れて残渣とともに処理するほかなかったり、最後の繭で選別されたりするもので、これが植物であろうと鶏であろうと揃わないものは揃わない部分に出くわします。飼育する際に“かわいそう”だと思いながらも同時に生命であるのだから仕方のないことだとも思います。今回の錦秋×鐘和という実用品種でさえ 30,000 頭のうち 10% (3,000 頭) 程度は良繭にならなかったわけですが、もっと揃いづらい品種もあるようです。生業として考える時にできるだけ生産量を増やしたいと考えれば、そのように扱いづらい品種は「劣った遺伝子」、同品種の中でも揃わない蚕は「劣った個体」のように見なすこともあるでしょう。それが人間社会においても、たとえば教育や会社の現場で持ち込まれ、たとえばホロコーストという歴史や優性保護法のような最近まで日本にあった法律、今でも出生前のゲノム編集という議論においては生きている価値観だと思います。一方で、日本国内におよそ 2,000 の蚕の品種が継代され、保存されているという事実は単純な優劣という物差しで見るのではなく、多様であること自体に価値があるという見方がなければ成し得ないことだと思います。全く実用化されたこともない品種に価値はないと言われればそれまででしょうが、そのおかげで「セヴェンヌ」のような品種や「響明」のような品種など特徴ある蚕品種が開発されて、新しい価値を生んでいることも確かです。今回の研修中、遺伝子源の

研究棟ではあらゆる色繭や暑さに強い品種などの飼育試験がなされており、養蚕の現場に実用化されるまでにどれだけ地道で大変な研究がなされているか目の当たりにしました。生命を扱う以上、そこには 100% はなく、変化や突然変異といった予想外と常に向き合う中で、多様な物差しを持ちながら探求し続ける姿勢に、私も自然との向き合い方、ひいては多様性社会といわれる今日の人との向き合い方まで考えさせられました。



選繭後の乾燥前繭

【スマート養蚕の『スマート』さ】

今日、国産繭で生産される生糸は国内シェアのわずか 0.15% にまで落ち込みほど国内養蚕業は衰退しているということです。シルクという素材だからこその良さを私の場合は本業を通じて知り、養蚕業が残っていくことの重要性と同時にその難しさも感じます。

弊社は京都府において目下、自社桑園を造成中で養蚕工場と製糸工場の建設を計画しています。あくまでも絹糸をとるための養蚕であり、今日それが産業として成り立つのか、大きな挑戦であり、無謀な挑戦かもしれません。例えば、数ヘクタールの桑園から無人で桑を収穫・運搬し、数十箱の蚕へ適量を適切なタイミングで給餌することが可能であれば、従来比で労働人数を半減させつつ、生産量を増やすことができるかもしれません。ただ、単純に何トンの繭や生糸を安価に生産するだけの『スマート』化は、結局のところいつかはもっと安価に生産できる他者・他国との競争となるだけで継続性がないかもしれません。そこで、価値を生み出す鍵が「生命」という完全ではないものへの向き合い方だと思っています。目の前で蚕が毎シーズン 100% 同じ動きをして同じ繭になったとき、生命ではないものへ変わってしまいもはや化学繊維と同じだと思いますが、そうではない「生命」の不完全性とそこに対して「もったいない」、「なにかあるかもしれない」と探求してきた人間の営為に学び、養蚕業復興の一助となれますよう励みたいと思います。

末尾となりましたが、本研修において大日本蚕糸会の皆様には大変お世話になりました。とくに蚕糸科学技術研究所の皆様、研修顧問をしてくださった持田様には厚く御礼申し上げます。

養蚕の潜在的価値とその可能性

～日本の養蚕は生き残れるか～

影森養蚕所

久米悠平



発表の様子

2025年2月14日に開催された埼玉県青年農業者研究大会にてプロジェクト発表部門で最優秀賞を賜りました。課題解決のために日頃の活動内容を発表し、多くの方から評価をいただくことが出来たのでその内容を紹介させていただきます。

課題の選定

およそ2000年続いてきた我が国の養蚕は現在消滅の危機にある。2023年には146戸を数えるのみで、その内の8割は60歳以上である。新規参入はほとんど見られず、今後も減少は免れない状況にある。大日本蚕糸会が行った養蚕農家調査によると、養蚕を継続していく上での課題として繭価格の上昇が1番に挙げられている。この結果から高齢化と後継者不足の一因は収入不足によるものと考えられる。

課題解決のための活動

養蚕の主な役割は繭生産であるため収入を上げるには、繭生産量と繭単価を上げることが重要である。だがこのプロジェクトでは養蚕という営み自体に含まれている価値を提供することで、繭生産以外による養蚕収入の可能性を探る。2023年にホームページの作成とSNSによる発信を行い、養蚕作業の体験を募集し認知拡大や普及を図り、養蚕そのものの価値に触れてもらう場を提供した。

成果

ホームページ作成とSNSは窓口の機能も果たし様々なご要望をいただくことができた。

(1) 養蚕体験・・・お蚕の説明や作業の体験を通じて、養蚕に関心を持ってもらった。地元の学生団体とも協力し地域探求のイベント開催や、様々な関係者との連携プログラムを実施し、合計132名に養蚕体験を楽しんでいただいた。

(2) 教育・・・教育機関から講師のご依頼をいただき、各地の学校で授業を行った。養蚕の長い歴史の中で果たしてきた功績は教育の現場では非常に好評であり、6件の教育プログラムを実施した。

(3) 撮影、芸術・・・提携しているデザ

イナーやブランドに養蚕現場を提供し、イメージ撮影をしていただいた。芸術活動をしているアーティストにも養蚕風景や道具をもとに作品制作をしていただき、多様な形で養蚕を発信できた。4 件の撮影、制作協力を行った。

(4) メディア取材、執筆・・・多種多様なメディアによる取材や執筆のご依頼をいただいた。メディア活動は宣伝、広報的役割を果たし、新規の繭生産のご注文につながるなど新しい関係が構築された。6 件の取材と執筆を行った。

以上が 2024 年の結果であり約 30 万円の収入を繭販売以外で得ることができた。持続可能と言えるほどの経営改善ではないが、初期投資や経費はほとんど無いため一定の効果はあると感じている。何よりこれらの活動により 300 名を超える方々が弊社にお越しいただき養蚕を認知していただいた。中には 10 日間ほど研修に来てくれた大学生も現れ、後継者の可能性も見出せたと感じる。

今後の展開

2025 年は学校の修学旅行、大学のゼミ研修、企業研修などを受け入れ、2024 年のおよそ 2 倍の収入を見込んでいる。繭生産と今回のプロジェクトのバランスを両立しつつ相乗的に取り組むことで十分な収入確保と後継者の獲得を目指す。後継者が獲得できれば農地の保全や耕作放棄地の解消にも役立ち、絹文化の継承にもつながる。またこれらの教育的価値や観光資源としての可能性を追求すれば地域活性化にも展開



REINA IBUKA ブランドによる撮影事例

できる。養蚕という営みの価値が他業種にも波及し、地域の社会問題をも解決できることを目指していく。

発表を終えて

この大会の主な参加者は農業関係者ではあるが養蚕を詳しく知っていた方はほとんどいなかったと思う。しかし発表を終えると、養蚕の歴史と魅力、危機を認識していただき応援の言葉を掛けてくれる方で溢れた。知らないだけで知ってしまえばすぐに虜になる。これは私自身が経験した養蚕の魅力であり、会場にいた方々も同じだったのと思う。この大会は関東、全国大会へと続くので一人でも多くの方に養蚕の魅力をお伝えしたいと思う。生産者として養蚕の存続に努めるべきと再確認した 1 日であった。

ポリエチレン製山型まぶしの作製

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸科学技術研究所

鶴井裕治

〈はじめに〉

養蚕農家の減少に伴い、カイコの飼育に必要な蚕具の調達が難しくなっています。山型まぶしもそのような蚕具のひとつであり、ここ数年において、当研究所にも樹脂製波型まぶしの代用品について問い合わせがあります。そのような要望が今後も増えることが予想されることから、ホームセンター等で入手できる市販のトリカルネットを利用したまぶしの作製を試みました。

ところで、トリカルネットは平面状のため、波型に変形させるには熱成形が必要ですが、一般向けの方法ではありません。そこで、熱成形の代替法として、短冊状に裁断したトリカルネットを市販の結束バンドで連結した後、山型を保つために必要な補助具を併用することで小型まぶし(30cm×42cm)の他、実用的な大型まぶし(72cm×106cm)の作製も可能となりました。ここでは、折り畳みやすく収納に優れた小型まぶしの作製方法について紹介いたします。

〈まぶしの作製方法〉

網目ピッチ約2cm×2cmのトリカルネット(1m×0.5m)を6cm×30cmの短冊状に18枚裁断します。裁断したネットは、カイコが傷つかないようにバリを綺麗に切り取ります(図1)。出来上がった短冊

状のネットを2枚並べ、長辺の3か所(中心と両サイド)を結束バンドで結びます。この時、結束バンドをきつく締めすぎるとネットの可動域が狭まり、片付ける際に折り畳みにくくなるため、結束バンドは一気に締めず、可動域を確認しながら締めます。全ての短冊ネットを繋ぐと9山(約42cm)のまぶしが出来上がります。しかし、結束バンドで繋いでいるため、使用時にまぶしの山が潰れることがあります。そこで、当初は補助棒を使用して山型を保つように試みましたが、固定が不完全で短冊ネットが動いてしまい山谷の間隔が乱れてしまうことがありました。この欠点を補うためには別の工夫が必要となりました。

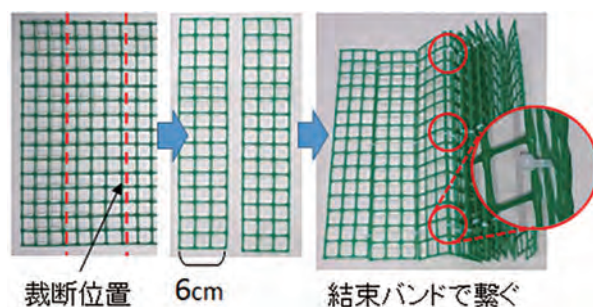


図1 まぶしの作製

〈まぶし補助の工夫〉

PVC(ポリ塩化ビニル)被膜された鉄製の針金で、まぶしの山幅を均一に保つためのフレームの作製を試みました。

太さの異なる針金を用意し、ペンチを利用して希望する山の高さに合わせて山と谷

を交互に作製しました。太さ 1.1mm の針金は、素手でも容易に加工ができますが、軟らか過ぎて強度に不安がありました。一方、太さ 2.5mm の針金は強度があり比較的加工がしやすかったので、この太さの針金で補助具となるフレームを作製することにしました。作製方法は図 2 の通りです。

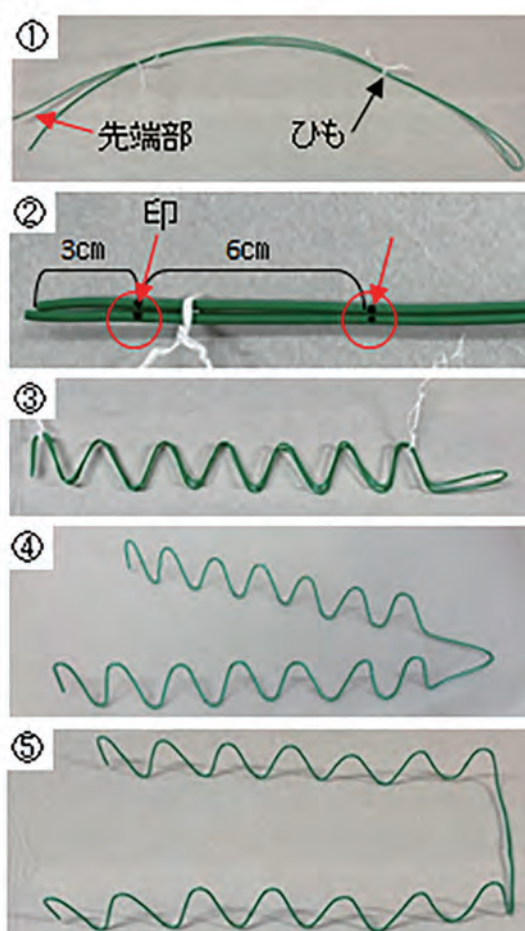


図 2 フレーム製作例

- ①針金（2.5m）の中心から二つ折りにしてひもで束ねる。
- ②先端部を 3cm ずつ残して 6cm 間隔で折り返す部分に印を付ける。
- ③印に従って山折り谷折りをくり返す。
- ④ひもをはずし、二つ折りにしていた針金を開く。
- ⑤真っ直ぐにして山型のフレームが平行になったら完成。

作製したまぶしの実用性試験では、園芸用バット（内寸 46cm × 31cm × 6cm）の

中に、紙とフレームとまぶしを設置してカイコを 70 頭入れて上簇させましたが、まぶしは上簇後も放虫時の山間幅を維持していました。なお、フレームにまぶしを重ねているため、下側にできた繭の割合が高くなりましたが、汚れ繭の程度は軽度でした。

これらのことから、針金のフレームと組み合わせたポリエチレン製の山型まぶしは、従来の波型まぶしと同等の性能を持つと考えられます。また、水洗いが可能なため、使用後も清潔に保つことができます。用途に応じてサイズを変えられますので、ぜひ作ってお試してください。



図 3 収繭前のまぶしの様子

参考資料

大日本蚕糸会研究報告 第 70 号
ポリエチレン製山型まぶしの
製作マニュアル p47



大日本蚕糸会研究報告 第 71 号
ポリエチレン製山型まぶしの
改良と性能試験 p36



大日本蚕糸会研究報告 第 72 号
サンピー蚕箔用ポリエチレン製
山型まぶしの性能試験 p23



第 71 回日本シルク学会講演要旨集 p8

イベント情報

●岡谷蚕糸博物館 企画展

信州の作家展 Part 5 小山憲市の世界

上田紬の作家として繊細な染織作品を発表し数々の賞を受賞してきた小山憲市氏。伝統を受け継ぎながら現代のライフスタイルに合った染織の美を追求しています。色には妥協しないという小山氏の洗練された感性が生み出す作品世界をじっくりとご堪能いただきます。

〈会期〉 令和7年6月19日（木）～8月31日（日）

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 特別展（夏休み展）

「学ぼうカイコ～推しのお蚕さま！～」

カイコや絹、繭に関する様々な「推し！」ポイントを紹介し、こどもから大人までどなたにも楽しみながらカイコやシルクの魅力に親しんでいただきます。期間中は展示館で沢山のカイコを飼育します。

〈会期〉 令和7年7月12日（土）～8月31日（日）

休館日：火曜日

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「糸かけアートの世界 ～心を紡ぐ 絲語り～」

釘に糸を掛けて紋様を描き出すアート。一定のリズムで糸を掛ける手しごとは、数や図形を学ぶ教育的側面と、心を整える心理学的側面とで注目を集めています。5人の糸かけ作家による、緻密で繊細な芸術の世界をご堪能いただきます。

〈会期〉 令和7年9月11日（木）～11月15日（土）

休館日：火曜日、9/24（水） ※ 9/23（火）は祝日のため、10/28（火）は「群馬県民の日」のため開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館

【実演・ワークショップのご案内】 ※ワークショップの申し込みは事前予約制です。

7月5日（土） 子ども向けワークショップ まゆ人形作り

7月12日（土） くみひもストラップ作り

8月16日（土） 子ども向けワークショップ まゆ人形作り

8月23日（土） 子ども向けワークショップ 小さなシルクハンカチ染め体験

8月24日（日） 子ども向けワークショップ 小さなシルクハンカチ染め体験

8月30日（土） 子ども向けワークショップ かいことシルクの勉強会

9月13日（土） 子ども向けワークショップ まわた人形「あひるの親子」作り

9月20日（土） 【実演】 手作り真綿

9月27日（土） 【実演】 手紬糸作り

【夏休み企画】

7月26日（土）～8月10日（日） 小学生のためのプログラム かいこ教室

【公募作品受付中】

「第28回全国染織作品展」（会期：10月26日～11月29日）開催に伴い、絹を素材とした染織作品（※未発表の作品に限る）を募集しています。締め切りは8月15日（金）です。

詳細はホームページをご覧ください。お電話にてお問合せください。

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 企画展

「花岡哲象 絹本日本画展」

会期：令和7年2月20日（木）～6月15日（日）

前期 2/20～4/7 中期 4/10～5/12 後期 5/15～6/15

開催報告：

岡谷市出身の日本画家、花岡哲象氏の作品を前期・中期・後期の三期に分け、総数85点を展示しました。作家トーク、日本画体験のワークショップなどのイベントでは、花岡さんの作品に対する想いをお話いただきました。また、冬麗社絹絵研究会の公開教室では、普段は見学できない教室内容を参加者にもご覧いただき、理解を深めていただきました。

群馬県立日本絹の里 特別展

「まゆクラフトと絹の作品展」

会期：令和7年2月16日（日）～4月7日（月）

開催報告：

本展では、繭の丸みや表面の凹凸など、繭の特性を活かして作るまゆクラフト作品を一般公募し、繭の優れた魅力を皆様にご紹介しました。また、伝統技法等により染織などの作品を創作している工芸作家と日本絹の里友の会会員の作品として、絹を用いた染色、織物、人形、刺繍などを展示し、天然素材である絹の素晴らしさを知っていただく機会としました。会期中には、繭や絹を使ったワークショップを開催し、多くの方々にお楽しみいただくことができました。

群馬県立日本絹の里 企画展

「錦の夢に酔う～バブル期の打掛と着物ドレス・若槻せつ子コレクション～」

会期：令和7年4月12日（土）～5月18日（日）

開催報告：

本展では、ファッションディレクター・若槻せつ子さんのコレクションから、昭和・平成バブルの結婚식을華やかに彩った、職人の技が輝く宝石のように豪華な打掛の数々を展示しました。合わせて、「伝統文化を次世代につなぎたい」という想いで若槻さん自らデザインした着物ドレスの作品を紹介しました。

会期中には「花嫁着付けの実演とトークショー」や「打掛試着体験」などの関連行事を開催したほか、着物での来館者にプレゼント企画も行い、和装文化の魅力に親しんでいただきました。

シルク博物館

「春の企画展 シルク博物館新収蔵品展」

会期： 令和7年4月26日（土）～6月8日（日）

開催報告：

本展では購入やご寄贈によって新たに収蔵した歴史資料や絹染織工芸品約100点を一堂に展示公開しました。作品鑑賞の「キモノ」だけではなく、佐賀錦や木版染の制作関係資料も併せて紹介できたことは、作品を鑑賞する点において重要な要素となりました。寄贈資料の中には実際に着用されていた和装品もあり、かつて衣生活においてシルクが身近な存在であったことを紹介する機会となりました。

また、シルクを体感していただく「レトロなキモノの試着体験」を開催し、キモノを着たことがない若い世代の方々にも興味を持っていただきました。着用したままで館内見学をしていただいたことも、キモノは鑑賞用ではなく実用の美しさがあると実感していただきました。

駒ヶ根シルクミュージアム

「カイコ・シルク何でも相談会」

会期： 令和7年3月23日（日）

開催報告：

蚕糸の日の企画としてカイコ・シルク何でも相談会を実施しました。カイコについての基礎知識、カイコの飼育方法、繭の利用について総合的に学ぶ機会としました。会場の皆さんからの質問・疑問にお答えする時間を長くって実施しました。初めての企画で参加者は7名でしたがアンケート結果では皆様に満足いただける催し物となりました。大人数での講演会型の企画では難しい個別相談に対応できた点が良かったのではと自己分析しています。

駒ヶ根シルクミュージアム

「2025 まゆクラフト作品展」

会期： 令和7年4月17日（木）～5月20日（火）

開催報告：

全国の繭クラフト愛好家の応募作品を展示する作品展を開催しました。18回目となる今年の企画も好評の中、閉幕しました。全国から33点の洗練された作品が寄せられました。繭そのものを利用して作品を仕上げる方、層になって作られている繭を薄く剥いで花びらのように加工する方、繭から真綿を作り作品に利用する方など個性的な技法に来館者は魅了されていたようでした。

また、応募作品の写真集を発刊しました（頒布価格1,000円）。今回ご覧になれなかった方など、是非ご購入頂ければと思います。まゆクラフトの取組みが、養蚕・繭作りの伝統・文化を伝承するとともに、新たな文化を創造することに、お役に立てればと考えています。

令和7年度貞明皇后研究助成採択一覧(5件)

貞明皇后研究助成とは？

本会は、蚕糸絹に関する科学技術の研究及び発明並びにその応用を助長し、蚕糸絹文化の継承と蚕糸絹業の改良発達に寄与することを目的として、本会の総裁であられた貞明皇后の御名を冠した研究助成を毎年度行っています。

今年度は、下記の5課題について採択をしました。(助成総額 6,804,000 円)

研究題目 及び 研究概要 (申請時)	研究代表者	助成金額
① シマグワ集団ゲノム解析による日本のクワ起源の解明へ向けた研究	信州大学 教授 松村 英生	1,300 千円
前年度までのクワ遺伝資源のゲノム解析の結果、日本のクワ遺伝資源に特徴的な祖先集団が推定され、シマグワには由来の異なる品種が見られた。これらの祖先集団の由来や系譜を解明することが日本のクワの成り立ちを理解し、それらの特徴からクワ品種の特性の理解につなげることができる。そこでさらに南日本のシマグワ、伊豆諸島のハチジョウグワ、北日本におけるクワ集団のゲノム情報の収集が重要と考えられるため、本年度は南西諸島各地のシマグワについて全ゲノム配列の比較解析を行う。		
② シルクを基盤とした低刺激・環境配慮型キレート剤代替素材の創出	農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 笠嶋 めぐみ	1,000 千円
金属イオンは化粧品の劣化や石鹸の泡立ち不良を引き起こす要因となるため、キレート剤が配合されているが、皮膚刺激性や環境負荷の問題がある。シルクは金属イオンを吸着する特性があり、申請者らはその吸着性能を向上させる処理方法の開発を進めている。本研究では、シルクの金属イオン吸着性を活用し、金属イオンをトラップするキレート剤の代替添加剤を開発する。化粧品の酸化防止効果、洗顔料などにおける金属セッケンの抑制を目的としたシルクの金属イオン吸着性能を評価し、キレート剤としての応用性を示す。		
③ 原蚕種の全齢人工飼料育による群馬オリジナル蚕品種の蚕種製造体系の確立	群馬県蚕糸技術センター 主任 下田 みさと	1,500 千円
近年の猛暑に対応するため、群馬県では初秋蚕期用蚕品種「なつこ」を農家へ提供し、初秋蚕期の繭の量と質の維持に努めている。農家や製糸会社から「なつこ」を初秋蚕期以外にも飼育したいとの要望があるものの、蚕種製造業務に従事する人員に限りがあり、需要に対して供給できない現状にある。そこで、従来の業務体系に全齢人工飼料育による蚕種製造を組み込むことで、通年で「なつこ」の蚕種製造が可能となる体系を確立する。		

④ 転写因子 sage/SGF1 によるフィブロインプロモーター活性化の検証と、その応用	京都工芸繊維大学 准教授 高木 圭子	1,500 千円
カイコガ絹糸の主要タンパク質・フィブロインの、絹糸として以外の利用促進を念頭に置き、フィブロインプロモーターを活性化させる転写因子（sage/SGF1）を過剰発現させたカイコガを作出することが本研究の目的である。このカイコガは通常よりも多くフィブロインを産生すると考えられる。また、フィブロインプロモーター下流に挿入した任意の遺伝子の発現量を上昇させ、目的タンパク質を効率的に産生する系の開発にも挑む。この系の実現により、基礎研究および蚕業の一層の発展に貢献できると考えている。		
⑤ 分離細繊維頻発系統における絹糸腺のゲノム三次元構造の解析	学習院大学 助教 李 允求	1,504 千円
絹製品の品質低下につながる形質「分離細繊維（ラウジネス）」の原因遺伝子を同定することを究極的な目標とし、その一助として分離細繊維を頻発させる系統の絹糸腺のゲノム3次元構造を明らかにする。分離細繊維の繭糸断面には、フィブロイン繊維の表面に、通常の繭糸には認められない微細繊維が付着している。微細繊維が発生する原因を明らかにするため、絹糸腺における Hi-C seq をおこない、ゲノムの3次元構造を正常系統（分離細繊維をほとんど発生させない系統）と比較し、構造の変異箇所を特定する。		

貞明皇后研究助成の応募方法等の詳細は、本会ホームページの「貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成」を参照してください。

■次回 令和8年度 貞明皇后研究助成 年間スケジュール（予定）

募 集 期 間	令和7年12月1日～令和8年1月31日
選 考	令和8年4月下旬 蚕糸褒賞等選考委員会にて選考
助 成 決 定 の 通 知	令和8年5月上旬
研 究 助 成 実 施 期 間	令和8年5月1日～令和9年2月28日
助 成 金 の 支 払 い	令和8年5月下旬
実績報告書の提出締切	令和9年3月1日
助 成 金 額 の 確 定 作 業	令和9年3月上旬～中旬
研 究 成 果 報 告	令和9年4月下旬 完了報告動画の提出（本会ホームページに掲載します。）

2025 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2025 年度第 1 次審査委員会を 2025 年 5 月 27 日(火)に開催しました。今回の申請は 6 者で、新規 1 者 2 品目、使用許諾されている 5 者のうち製品の追加 1 者 2 品目、履歴の追加 1 者 1 品目、数量の追加 4 者 6 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、6 者 11 品目に対し、6 月 3 日(火)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨、通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) (株) ノリージュ 代表者名：鈴木由絵子 (担当者：鈴木由絵子) 〒 170-0003 東京都豊島区駒込 1-34-5-303 TEL：03-6304-1715 表示者登録番号 256	絹糸 (21 中精練加工)	50 総	繭生産 埼玉県内養蚕農家 製 糸 松澤製糸所 製 織 福島燃糸 精練加工 (有) 糊重 十日町絨染色部門 伝統工芸士 中林 智拓
	絹糸 (21 中精練染色加工)	50 総	繭生産 埼玉県内養蚕農家 製 糸 松澤製糸所 製 織 福島燃糸 精練染色加工 (有) 糊重 十日町絨染色部門 伝統工芸士 中林 智拓
(製品の追加) U G A A I 代表者名：安田愛 (担当者：安田愛) 〒 155-0033 東京都世田谷区代田 3-27-26 コルヌスツリーハウス 203 TEL：090-1800-4729 表示者登録番号 250	Night wear	8 着	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 糸 (株) 宮坂製糸所、 (株) 野村町地域振興センター 製 織 (有) 大原織物 縫 製 自社
	Room wear	5 着	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 糸 (株) 宮坂製糸所、 (株) 野村町地域振興センター 製 織 (有) 大原織物 縫 製 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 (担当者：渡辺豊一) 〒 990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺 892-1 TEL：023-664-5405 表示者登録番号 190	(数量の追加) 先染反物(綾御召)	34 反	繭生産 JA たかさき・JA にったみどり 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 佐米染色(有) 製 織 自工房
	(履歴の追加) 先染反物(綾御召)	34 反	繭生産 JA たかさき・JA にったみどり 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 自工房 製 織 自工房
(数量の追加) (株) とみひろ 代表者名：富田浩志 (担当者：富田泰弘) 〒 990-0031 山形県山形市十日町 4-1-3 TEL：023-635-1212 表示者登録番号 075	白生地	39 反	繭生産 自社養蚕所 製 糸 松岡(株) 製 織 田勇機業(株)
(数量の追加) (株) 伊と幸 代表者名：北川幸 (担当者：北川幸) 〒 604-8176 京都市中京区御池通室町東入竜池町 448-2 TEL：075-211-2361 表示者登録番号 035	白生地(帯地)	200 本	蚕品種 松岡姫 繭生産 JA ふくしま未来管内養蚕農家 製 糸 (株) 宮坂製糸所 製 織 奥田重之織物
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：尾上崇) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物(振袖)	3 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 篠春織物(株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物(振袖)	6 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
	後染反物(振袖)	6 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2025 年度第 2 次：2025 年 8 月 28 日（木）

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2025 年 7 月 25 日（金）

（連絡先）

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、伊藤

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

伊藤：ito@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2025年6月3日(2025-第1次)現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袷紗、帯揚)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類、着尺)、後染反物(色無地)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウォーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いいけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多栄子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、紘)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地、先染反物、先染帯地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) 綾の手 (旧 (株) あきやま)	宮崎県綾町	先染反物 (綾の手紬)、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、紹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ、袷紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袷紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地、表地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物(着尺(首里織))、先染帯地(首里織)
247	丸八生糸 (株)	京都市上京区	白生地 (表地)
248	(株) 高島織物	京都市北区	白生地 (表地)
249	くらしつむぐあとリエ	福井県坂井市	白生地(表地、帯地)、服飾品(ストール)
250	UGAA I	東京都世田谷区	洋装服地、Relaxing wear(Night wear、Room wear)
251	石川県立津幡高等学校	石川県河北郡	白生地(牛首紬)、白生地(帯地(牛首紬))
252	合同会社COCON	大阪府四條畷市	寝具寝装品(シュラフ型シルクシーツ、ナイトキャップ、手袋、靴下)、シルクスリッパ
253	福和商事 (株)	東京都中央区	白生地 (表地)
254	(株) 錦	京都市左京区	洋装品 (ジャケット)
255	(株) 橋本絞店	群馬県太田市	絞り着尺
256	(株) ノリージュ	東京都豊島区	絹糸

月日	活 動 内 容 等
4/2	第 1 回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
4/14	令和 6 年度蚕糸科学技術研究所 研究業務報告会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
4/14	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
4/18	令和 7 年度蚕糸褒章等選考委員会 (研究助成選考部会) (東京都有楽町 蚕糸会館)
4/22	役員推薦委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
4/24	第 6 回有識者会議 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/8	第 2 回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/12	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
5/22	令和 7 年度事業審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/23	令和 7 年度蚕糸褒章等選考委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/26	第 7 回有識者会議 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/27	純国産絹マーク審査委員会 (2025 年度第 1 次) (東京都有楽町 蚕糸会館)
6/3	第 1 回持続的養蚕業確立検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)

月日	活 動 内 容 等
6/5	第3回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
6/6	通常理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
6/9	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
6/10	役員推薦委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
6/27	定時評議員会・臨時理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50 - 1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12 - 2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3 - 7 - 1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3 - 2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1 - 2673 - 1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいてステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館「紫（ゆかり）」	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450 - 1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28 - 1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3 - 1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1 - 6 - 8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4 - 7 - 1 サザンスカイトワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5 - 60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3 - 1 - 15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1 - 6 - 36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3 - 15 - 1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
藤本蚕業歴史館	386-0042	長野県上田市上塩尻 248	0268-24-2460
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅうま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34 - 1 - 1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1 - 4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5 - 1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一社) 日本絹人織織物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMS (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
全国シルクビジネス協議会

<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<https://tanko.or.jp>
<https://nishijin.or.jp>
<https://www.tafs.or.jp>
<https://www.fashion-kyoto.or.jp>
<https://www.wasou.or.jp>
<https://kyokai.kougeihin.jp>
<https://japan-silk.org>

【大学・試験研究機関】

農業・食品産業技術総合研究機構
北海道大学 (応用分子昆虫学研究室)
宇都宮大学 (分子昆虫学研究室)
東京大学 (昆虫遺伝研究室)
東京農工大学 (蚕学研究室)
東京農工大学 (生体分子構造学分野)
名古屋大学 (資源昆虫学研究室)
信州大学繊維学部
京都工芸繊維大学 (応用生物学課程)
九州大学 (家蚕遺伝子開発分野)
九州大学 (昆虫ゲノム科学研究室)
群馬県蚕糸技術センター
群馬県繊維工業試験場
京都府繊維・機械金属振興センター
(地独) 京都市産業技術研究所
(公財) 衣笠繊維研究所

<https://www.naro.go.jp/index.html>
<https://www.agr.hokudai.ac.jp/r/lab/applied-molecular-entomology>
<https://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology>
<https://sites.google.com/view/igblab-ut-aba/top>
<https://web.tuat.ac.jp/~kaiko>
<https://sites.google.com/go.tuat.ac.jp/nakazawa-lab/home>
<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~yousan>
<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles>
<http://www.bio.kit.ac.jp>
<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/kasan/insect/top.html>
<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/igs>
<http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
<https://www.tec-lab.pref.gunma.jp/textile>
<http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
<http://www.tc-kyoto.or.jp>
<http://krf-textile.com>

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jssst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<https://jsws-yasan.com>

【博物館等】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館
駒ヶ根シルクミュージアム
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)
はたや記念館ゆめおーれ勝山

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>
<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/silkhakubutsukan>
<https://www.tuat-museum.org>
<https://komagane-silk.com/>
<https://silkfact.jp>
<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>

【博物館等】

美馬蚕糸館

<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

野外博物館 北海道開拓の村

<https://www.kaitaku.or.jp>

富岡製糸場

<https://www.tomioka-silk.jp/tomioka-silk-mill/>

群馬県立世界遺産センター

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	46
(2) 養蚕農家数の推移	47
(3) 繭生産数量の推移	48
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	52
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	54
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	56
(12) 製糸工場の操業状況	57
(13) 生糸在庫数量の内訳	58
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	63
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	64

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	66
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	68

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,319
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	1,444
2023	146	45	308	0.2	7	33	—	1,242
2024	134	38	284	0.1	7	31	—	—
前年比(%) 2024/2023	91.8	84.4	92.0	50.0	100.0	93.9	—	—

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織織物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)
・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)
・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.
Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit：number)

項 目 年 間 春 蚕 初秋蚕 晩秋蚕 暦 年 Item Annual total Spring silk-worm Early autumn silk-worm Late autumn silk-worm				
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
2023	146	126	78	130
2024	134	122	74	113
前年比(%)				
2024/2023	91.8	96.8	94.9	86.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
2023	45	17	11	17	308	135	141	131
2024	38	16	10	13	284	131	135	115
前年比 (%) 2024/2023	86.1	94.5	88.9	76.3	92.2	97.0	95.7	87.8
2024年 構成比 (%)	100.0	40.6	25.6	33.8				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2023	154	2,936	0	3,158	859	7,495	137	2,515	3,213
2024	131	2,763	0	2,882	871	6,251	177	2,221	3,005
2023 - 1	13	271	0	345	866	650	10	209	182
2	10	179	0	270	785	309	10	118	285
3	14	295	0	272	822	705	15	221	316
4	17	—	0	142	697	514	9	222	292
5	14	460	0	504	667	742	2	221	289
6	15	221	0	126	777	791	12	205	291
7	11	218	0	280	726	578	23	230	258
8	11	354	0	290	801	742	6	227	251
9	10	198	0	221	788	681	14	216	257
10	11	218	0	193	824	599	20	224	265
11	12	364	0	382	818	658	10	214	255
12	16	157	0	132	859	526	6	208	272
2024 - 1	11	234	0	223	881	492	6	262	203
2	13	290	0	263	921	438	12	139	241
3	10	335	0	343	923	352	20	143	284
4	8	—	0	22	909	557	13	220	262
5	11	366	0	426	860	545	4	212	322
6	10	196	0	177	889	351	25	213	247
7	15	352	0	512	744	746	7	225	249
8	12	170	0	121	805	507	26	164	210
9	14	226	0	226	819	516	3	213	245
10	8	158	0	82	903	488	31	184	253
11	10	284	0	290	907	702	18	183	251
12	9	151	0	196	871	557	14	147	237
2025 - 1	13	206	0	276	814	513	20	205	161
2	10	110	0	120	814	564	12	135	247
3	13	334	0	318	843	387	12	165	245
4	12	—	0	10	845	547	10	165	251

資料：(A) (C) (D) 中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) Central Raw Silk Association（2012.12～2018.10）. The Dainippon Silk Foundation（2018.11～）

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
2023	166	45	0	121	3	7	6	105	121	20	0	0	7	13	101	45
2024	158	45	0	113	3	6	5	99	113	11	0	0	7	4	102	45
前年比 (%) 2024/ 2023	95	100	—	93	100	86	83	94	93	55	—	—	100	31	101	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11)製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills (単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021		55	57	67
2022		46	59	54
2023		43	50	37
2024		39	46	27
2023	- 1	0	4	49
	2	0	4	44
	3	2	5	41
	4	0	5	37
	5	0	4	33
	6	9	5	34
	7	10	4	40
	8	3	3	40
	9	1	3	38
	10	9	4	43
	11	3	4	42
	12	1	6	38
2024	- 1	1	4	35
	2	0	4	31
	3	0	4	27
	4	0	3	24
	5	3	3	24
	6	8	4	25
	7	10	6	29
	8	3	4	27
	9	1	5	23
	10	13	3	33
	11	0	4	29
	12	1	3	27
2025	- 1	1	5	23
	2	1	4	20
	3	1	5	16

資料：中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会 (2018.11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1.This table includes reelable,doupion and waste cocoons.

2.Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項 目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2015	8	110	33	30	263	53
2016	8	110	29	26	267	55
2017	8	110	31	28	266	59
2018	8	74	34	46	253	57
2019	8	74	27	36	239	51
2020	8	74	23	31	218	48
2021	7	74	15	20	214	43
2022	7	64	14	22	230	41
2023	7	44	15	34	235	41
2024	7	44	13	31	265	34
2023 - 1	7	44	15	34	16	42
2	7	44	16	36	17	40
3	7	44	17	39	21	42
4	7	44	15	34	21	34
5	7	44	15	34	21	34
6	7	44	17	39	21	44
7	7	44	15	34	22	44
8	7	44	12	27	16	41
9	7	44	12	27	19	41
10	7	44	13	30	22	41
11	7	44	16	36	20	41
12	7	44	13	30	19	41
2024 - 1	7	44	14	32	17	41
2	7	44	13	30	20	41
3	7	44	13	30	19	41
4	7	44	9	20	20	40
5	7	44	12	32	19	40
6	7	44	15	34	21	43
7	7	44	17	39	22	43
8	7	42	18	43	17	20
9	7	42	12	29	31	20
10	7	42	13	31	30	20
11	7	42	10	24	29	20
12	7	42	13	31	20	38
2025 - 1	7	42	17	40	20	38
2	7	42	16	38	18	40
3	7	42	18	43	16	41

資料：中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10).The Dainippon Silk Foundation(2018.11～)

Remarks：1.The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2.Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3.Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
	2015	1,410	94	1,316	
	2016	1,406	130	1,276	
	2017	1,747	156	1,591	
	2018	1,330	230	1,100	
	2019	1,429	238	1,191	
	2020	1,066	178	888	
	2021	868	170	698	
	2022	927	127	800	
	2023	859	144	715	
	2024	871	128	743	
2023 -	1	866	129	737	
	2	785	125	660	
	3	822	131	691	
	4	737	138	599	
	5	667	138	529	
	6	777	143	634	
	7	726	142	584	
	8	801	139	662	
	9	788	135	653	
	10	824	137	687	
	11	818	140	678	
	12	859	144	715	
2024 -	1	881	138	743	
	2	921	138	783	
	3	923	138	785	
	4	909	133	776	
	5	860	133	727	
	6	889	136	753	
	7	744	138	606	
	8	805	137	668	
	9	819	137	682	
	10	903	130	773	
	11	907	130	777	
	12	871	128	743	
2025 -	1	814	128	686	
	2	814	127	687	
	3	843	121	722	
	4	845	122	723	
	5	753	118	635	

資料 : 中央蚕糸協会 (2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~)

Source : Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000m)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,319	840	587	9	244	336	128	208	143
2022	1,444	1,016	716	0	300	280	72	208	148
2023	1,242	817	548	0	269	288	82	206	136
2023 - 1	106	75	52	0	23	23	7	16	8
2	99	65	45	0	20	23	6	17	12
3	104	63	48	0	15	25	7	18	16
4	112	73	54	0	19	25	7	18	14
5	113	77	48	0	29	24	7	17	12
6	110	72	47	0	25	25	7	18	12
7	100	63	45	0	18	25	8	17	11
8	101	68	44	0	24	23	7	16	10
9	93	59	41	0	18	23	6	17	10
10	102	68	42	0	26	25	7	18	9
11	107	73	42	0	31	24	7	17	10
12	95	61	40	0	21	23	7	16	10
2024 - 1	94	58	44	0	14	26	10	16	9
2	96	56	40	0	16	27	11	16	12
3	93	56	44	0	12	28	11	17	10
4	93	54	42	0	12	29	12	17	10
5	103	66	36	0	30	28	11	17	9
6	92	54	34	0	20	28	11	17	9
7	95	52	35	0	17	29	12	17	13
8	71	40	30	0	10	23	8	15	7
9	84	46	32	0	14	28	11	17	10
10	95	61	36	0	25	28	11	17	7
11	101	68	36	0	32	25	9	16	7
12	94	61	35	0	26	24	9	15	8
2025 - 1	88	57	43	0	14	23	8	15	7
2	81	45	34	0	11	26	10	16	10
3	90	56	45	0	11	24	10	14	9
4	86	51	32	0	19	26	10	16	9

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 2024年分までデータ補正がある。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks：1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. Data are corrected until 2024.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,319	108.6	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022	1,444	109.5	158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2023	1,242	86.0	147,196	92.6	11,657	97.2	254,378	90.4
2024			132,320	89.9	9,976	85.6	206,760	81.3
2023 - 1	106	102.1	9,451	90.9	1,011	102.8	24,615	110.5
2	99	80.0	12,892	101.1	836	85.1	19,786	93.6
3	104	83.6	11,963	96.7	901	104.4	24,475	97.5
4	112	88.8	13,330	89.2	878	79.0	23,422	89.2
5	113	91.9	11,894	106.1	1,197	106.2	22,043	100.1
6	110	75.9	13,523	92.3	952	77.0	23,807	89.1
7	100	82.4	13,194	90.7	1,121	112.6	18,686	83.9
8	101	90.4	8,952	75.0	855	91.1	16,250	76.8
9	93	89.2	14,213	101.6	684	80.9	20,410	81.2
10	102	86.5	12,354	82.7	989	89.2	19,502	83.2
11	107	88.1	12,399	90.3	1,030	107.2	20,270	83.5
12	95	78.5	13,030	96.4	1,203	144.1	19,688	90.7
2024 - 1	94	88.3	8,032	85.0	885	87.5	14,648	61.1
2	96	96.8	13,377	103.8	1,043	124.8	17,070	86.2
3	93	89.4	11,675	97.6	999	110.9	18,682	73.4
4	93	83.0	12,093	90.7	997	113.6	20,584	86.9
5	103	91.2	10,096	84.9	722	60.3	21,751	99.9
6	92	83.6	13,031	96.4	702	73.7	16,369	68.4
7	95	95.0	10,794	81.8	876	78.1	15,860	84.9
8	71	70.3	8,492	94.9	546	63.9	13,324	82.0
9	84	90.3	12,063	84.9	921	134.6	17,628	90.6
10	95	93.1	9,186	74.4	921	93.1	17,386	86.1
11	101	94.4	12,377	99.8	684	66.4	18,223	84.8
12	94	98.9	11,104	85.2	680	56.5	15,253	77.5
2025 - 1	88	93.6	6,913	86.1	680	76.8	14,152	96.9
2	81	84.4	11,714	87.6	702	67.3	13,393	79.5
3	90	96.8	8,227	70.5	878	87.9	15,781	84.3
4	86	92.5	9,550	79.0	718	72.0	18,671	88.7
5			8,975	88.9	522	72.3		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 絹織物生産数量の数値は2024年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by sheir local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The figures of silk fabric production quantity are corrected until 2024.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

— 資料・海外 —

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China	352,942	201,572	156,690
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan	17,912	21,374	20,942
イラン	Iran	589	1,407	1,756
タイ	Thailand	4,858	5,011	3,715
ブラジル	Brazil	3,055	3,047	2,742
ベトナム	Vietnam	8,145	11,855	14,937
北朝鮮	North Korea	2,500	2,643	2,643
トルコ	Turkey	94	90	90
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	18	18	18
シリア	Syria	-	1	1
主要国の計	Total	575,783	432,253	372,959

区 分		2021年	2022年	2023年
		トン	トン	トン
日本	Japan	61	51	45
中国	China	136,964	146,560	146,867
インド	India	187,241	199,752	215,642
ウズベキスタン	Uzbekistan	22,770	24,300	25,886
イラン	Iran	1,653	1,798	1,840
タイ	Thailand	3,593	3,107	3,095
ブラジル	Brazil	2,211	1,807	1,715
ベトナム	Vietnam	16,444	16,824	17,727
北朝鮮	North Korea	2,643	2,643	1,919
トルコ	Turkey	76	69	78
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	21	21	17
シリア	Syria	2	1	1
主要国の計	Total	373,679	396,933	414,832

注: 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国はFAOの統計値を使用。(2025年3月時点)

Note: Figures of China are based on the data of the China Silk Association. Figures of Japan are based on the data of the The Dainippon Silk Foundation, Ministry of Textiles in The Dainippon Silk Foundation. Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India. Others than these countries, based on the data of International Sericulture. (As of March 2025)

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2025年2月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	129.00 ~ 160.25	2,709 ~ 3,365
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	157.25 ~ 185.25	3,302 ~ 3,890
3	玉繭(double cocoon)		98.00 ~ 125.00	2,058 ~ 2,625
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	106.00 ~ 155.00	2,226 ~ 3,255
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	457.00 ~ 517.75	9,597 ~ 10,873
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	463.75 ~ 527.00	9,739 ~ 11,067
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	456.00 ~ 484.25	9,576 ~ 10,169
8	玉糸(doupion silk)	110d	451.00 ~ 466.00	9,471 ~ 9,786
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.28 ~ 46.00	846 ~ 966
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	61.13 ~ 71.00	1,284 ~ 1,491
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	51.85 ~ 57.00	1,089 ~ 1,197
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	44.65 ~ 50.00	938 ~ 1,050

注:1元=21円

1CNY=21JPY

2025年3月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	127.00 ~ 159.75	2,667 ~ 3,355
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	156.00 ~ 184.50	3,276 ~ 3,875
3	玉繭(double cocoon)		98.00 ~ 125.00	2,058 ~ 2,625
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	107.50 ~ 155.00	2,258 ~ 3,255
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	454.75 ~ 521.25	9,550 ~ 10,946
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	462.75 ~ 529.00	9,718 ~ 11,109
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	453.25 ~ 484.50	9,518 ~ 10,175
8	玉糸(doupion silk)	110d	450.25 ~ 466.00	9,455 ~ 9,786
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.20 ~ 46.00	844 ~ 966
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	61.00 ~ 71.00	1,281 ~ 1,491
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	51.80 ~ 57.00	1,088 ~ 1,197
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	44.60 ~ 50.00	937 ~ 1,050

注:1元=21円

1CNY=21JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2025年4月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	127.60 ~ 159.00	2,552 ~ 3,180
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	154.60 ~ 180.40	3,092 ~ 3,608
3	玉繭(double cocoon)		98.00 ~ 125.00	1,960 ~ 2,500
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	108.00 ~ 154.00	2,160 ~ 3,080
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	454.60 ~ 519.00	9,092 ~ 10,380
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	460.00 ~ 528.00	9,200 ~ 10,560
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	452.00 ~ 483.00	9,040 ~ 9,660
8	玉糸(doupion silk)	110d	450.00 ~ 466.00	9,000 ~ 9,320
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.20 ~ 46.00	804 ~ 920
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	61.00 ~ 71.00	1,220 ~ 1,420
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	51.80 ~ 57.00	1,036 ~ 1,140
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	44.60 ~ 50.00	892 ~ 1,000

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2025年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	132.00 ~ 161.00	2,640 ~ 3,220
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	157.75 ~ 180.00	3,155 ~ 3,600
3	玉繭(double cocoon)		98.30 ~ 125.50	1,966 ~ 2,510
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	110.75 ~ 154.50	2,215 ~ 3,090
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	458.00 ~ 520.50	9,160 ~ 10,410
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	463.25 ~ 528.50	9,265 ~ 10,570
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	454.75 ~ 488.25	9,095 ~ 9,765
8	玉糸(doupion silk)	110d	451.50 ~ 467.50	9,030 ~ 9,350
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.58 ~ 46.38	812 ~ 928
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.38 ~ 72.25	1,248 ~ 1,445
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.23 ~ 57.50	1,045 ~ 1,150
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.65 ~ 50.88	913 ~ 1,018

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp>

シルクレポート 2025 年 7 月号 No.86 令和 7 年 7 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず